新装第1版

茅ヶ崎方式 国際英語教本 Book 0

0 zero からスタート 再学習の英語

茅ケ崎方式英語会

前編

はじめに

この教本は、中学校で一応英語を勉強しながら、よく分からなかったり、途中で挫折した人、社会に出てからもう一度英語をやりなおそうと考えている人のための学習書です。

この教本では、誰でも知っている内外の人物を教材にして、皆さんの知っている事実を英語に結びつけることによって、英語を学べるように工夫してあります。

また、この教本では、学習者の負担を軽くするため、使用する単語を、固有名詞や特殊な用語、それにほとんど日本語になっている英語を除いて、５００語（前編は２５０語*）に制限してあります。これらの５００語を、繰り返し学んで身につけることによって、英語学習の基盤を作ることが出来ます。

初めに、巻末の「茅ヶ崎方式学習システムの使い方」と「この教本の使い方」をよく読んで理解してから、学習を始めてください。

２０１２年２月　　著者一同

＊ p. 119 WORD LIST 参照

茅ケ崎方式英語教本 BOOK-0〔前編〕 目次

UNIT-1 岡本 太郎 ……6
UNIT-2 湯川 秀樹 …… 11
UNIT-3 本田 宗一郎 …… 15
UNIT-4 手塚 治虫 …… 21
UNIT-5 美空 ひばり …… 27
UNIT-6 ダイアナ妃 …… 32
UNIT-7 双葉山 …… 37
UNIT-8 野口 英世 …… 43
UNIT-9 黒澤 明 …… 48
UNIT-10 ジョン・レノン …… 54
UNIT-11 三浦 敬三 …… 60
UNIT-12 宮澤 賢治 …… 65
UNIT-13 市川 房枝 …… 70
UNIT-14 樋口 一葉 …… 75
UNIT-15 マザー・テレサ …… 81
UNIT-16 中内 功 …… 87
UNIT-17 開高 健 …… 93
UNIT-18 アルフレッド・ノーベル 99
UNIT-19 マーガレット・サッチャー 108
UNIT-20 吉田 茂 …… 114

各 UNIT の組み立て（次ページ→）

英語ひとくちばなし

① 日本語と英語 …… 10
② 英語という言葉 …… 25
③ 英語と国際英語 …… 42
④ 英文法の学習…… 59
⑤ 文型 …… 80
⑥ チャンキング…… 105

英語の音声

PHONICS（フォニックス）とは…… 106
PHONICS ルール一覧表 …… 123

WORD LIST …… 119
不規則動詞一覧表…… 124
日本語訳と解答…… 127
茅ヶ崎方式英語学習システムの使い方…… 156
この教本の構成と使い方…… 158
著者、監修者、英文校閲者、CD 吹き込み者略歴 …… 161

各 UNIT の組み立て

① LISTENING　(英文の聴き取り)
② QUESTIONS　(LISTENING の内容についての簡単な質問)
③ WORD TEST　(LISTENING に使用されている用語のテスト)
④ 説明　(用語の説明)
⑤ EXERCISE 1　(LISTENING の英文のチャンクの組み立て)
⑥ EXERCISE 2　(既習の用語を用いた簡単な英文の作成)
⑦ 英語の仕組み　(文法事項などの説明)（下表）
⑧ EXERCISE　(⑦ の練習問題)
⑨ PHONICS　(英語の文字と発音の関係についての説明)
⑩ EXERCISE　(⑨ の練習問題)
⑪ 発話練習　(LISTENING で採り上げた人物についての簡単な対話)

⑦ 英語の仕組み

前　編			
内　容	頁	内　容	頁
品詞	8	接続詞	63
不規則動詞	13	完了形	68
時制	18	命令文	73
疑問文（1）	23	補語（2）	78
補語（1）	30	関係代名詞	84
受動態	35	綴りと発音①	91
疑問文（2）	40	綴りと発音②	97
目的語	46	名詞チャンク	102
現在・進行	51	動詞チャンク	112
疑問文（3）	57	副詞チャンク	117

後　編			
内　容	頁	内　容	頁
品詞	9	特殊疑問文	66
主語と述語	16	比較	72
補語と目的語	21	時制	78
受動態	26	関係代名詞	84
５文型	31	複合関係代名詞	89
前置詞	37	関係副詞	95
接続詞	44	関係代名詞省略	102
chunking 1	50	不定詞	108
chunking 2	56	動名詞	114
普通疑問文	61	分詞	120

＊ 学習法については巻末の「この教本の構成と使い方」参照

CD 2

UNIT 1

OKAMOTO TARO

LISTENING（英文の聴き取り） 訳 p127

Okamoto Taro is a master of abstract art. He studied art in Paris for nine years and was interested in Picasso's paintings. Okamoto's works are full of bright colors. His best-known work is the Tower of the Sun, the symbol of the Osaka Expo in 1970. The 70-meter-tall white tower has three faces: golden, white and black. He often said, "Be free from traditional rules," and "Express yourself freely."

QUESTIONS

答 p127

1. 岡本太郎は、どこで、何を学びましたか？
2. 彼は、そこで、何に興味を持ちましたか？
3. 一番有名な作品はなんですか？
4. その作品はどんなものですか？
5. 彼はよく、なんと言っていましたか？

CD 3 WORD TEST

1. master
2. art
3. study
4. be interested in
5. painting
6. work
7. full
8. bright
9. best-known
10. tall
11. have
12. face
13. often
14. say
15. free
16. traditional
17. rule
18. express

＊ abstract art

＊ EXPO

WORD の説明

1. master： 巨匠、大家　a master of music (the piano, the film world)
2. art：芸術、美術　→　artist 芸術家
3. study： 勉強する、研究する　→　student 学生
4. be interested in ～： ～に興味を持つ　I am interested in English. (movies, swimming)
5. painting：絵画　←　paint 絵を書く　←　paint ペンキ、絵の具
6. work：作品　a work of art 美術品、芸術作品
7. full：いっぱいの　The basket is full of apples.
8. bright ：明るい　bright sun 明るい太陽　cf. dark 暗い
9. best-known：一番よく知られた　the best-known Japanese Major Leaguer 一番よく知られた日本人大リーガー　Hibari is the best-known singer in Japan. 美空ひばりは、日本で一番よく知られた歌手です。
10. tall：（背丈が）高い　333-meter-tall Tokyo Tower, 202-centimeter-tall sumo wrestler
11. have：持つ　不規則動詞 have(has) had had
12. face：顔　bright face　晴れ晴れした顔、long face 憂鬱な顔　face to face　面と向かって

13. often :（発音注意）しばしば He often goes to the swimming pool.
14. say : 言う 不規則動詞 say said said, 三人称単数現在 says（発音注意）
15. free : 自由な → freely free+ly Children swim freely in the pool.
16. traditional : 伝統的な ← tradition 伝統 , traditional art 伝統芸術
17. rule : 規則 school rules 校則
18. express : 表現する express yourself あなた自身を表現する Express your opinion ! 自分の意見を言いなさい。→ expression 表現 freedom of expression 表現の自由

＊ abstract art 抽象美術。現実の事物の再現ではなく、色彩と形態の表現力のみで構成された美術。

＊ EXPO 万国博覧会 ← exposition 展覧会、EXPO 2005 AICHI 愛知万博

EXERCISE 1 答 p127

意味が通ずるように語順を並べ替えてください。

1. art, for nine years, in Paris, studied, Okamoto
2. Picasso's, was interested in, paintings, he
3. work, the Tower of, his, the Sun, best-known, is
4. 70-meter-tall, has, three, tower, faces, the
5. said, yourself, often, express, he, freely

EXERCISE 2 答 p127

英語にしてください。

1. 山下泰裕さんは、日本の伝統的なスポーツである柔道の大家である。
2. 彼は、London で、３年間英語を学んだ。
3. アメリカで一番よく知られた日本人大リーガーは、イチロー選手である。
4. 多くの大リーグ選手が、イチローのバッティングに興味を持っている。
5. 高さ２９６メートルの横浜ランドマークタワーには高速エレベーターがある。

英語の仕組み ❶ ８品詞

1. 名詞：事柄や物、人などの名前 2. 代名詞：名詞の代わりになる語
3. 形容詞：名詞を修飾、説明する語 4. 動詞：動作や状態を示す語
5. 副詞：動詞や形容詞、他の副詞を修飾する語 6. 前置詞：句（主語・

述語を持たない語のひとかたまり）を先導する語　7.　接続詞：語や句、節（主語・述語を有する文）を結びつける語　8.　間投詞：叫び声など。

EXERCISE 3　答 p127

次の日本語の文章から、名詞、代名詞、形容詞、動詞、副詞を抜き出して、分類してください。

岡本太郎は、彼の職業を問われると、私は、画家でも彫刻家でも写真家でもなく「人間である」と答えた。彼は、芸術を枠にはめることを好まず、「自由に表現せよ」「芸術は爆発だ」という有名な言葉を残している。

EXERCISE 4　答 p127

LISTENING の英文から、名詞と動詞各３つ、代名詞、形容詞、副詞を各２つ抜き出してください。

名詞	(　　)	(　　)	(　　)
動詞	(　　)	(　　)	(　　)
代名詞	(　　)	(　　)	
形容詞	(　　)	(　　)	
副詞	(　　)	(　　)	

CD 4　PHONICS

ＣＤを聞いて発音練習をしましょう。

b　b　は、唇を強く結んで一気に声を出して〔b〕（ブ）と言う。

best　bank　begin　be　bright

p　p　は、声を出さずに、b と同じ要領で〔p〕（プ）と言う。

pen　pack　peace　Paris　Piccaso

CD 5　EXERCISE 5　答 p128

ＣＤを聞いて、空所を埋めてください。（b と p の音を聞き分けましょう。）

1. □ irth　2. □ oth　3. □ ass　4. □ ank note　5. □ aint

EXERCISE 6　答 p128

発話練習

1. Do you know any other things about Okamoto Taro?
   Yes, I do.　No, I don't.
2. What do you know?

英語ひとくちばなし ❶ 日本語と英語

＜英語ひとくちばなし＞は、英語を学ぶ人達が知っておいて欲しい常識的な事柄を、やさしく解説したものです。

世界には３千とも６千ともいわれる言語があります。それらの言語は、元になった祖語によって、いくつかの語族に分けられます。たとえば、インド・ヨーロッパ語族 (印欧語族) とかウラル・アルタイ語族、日本・朝鮮語族などです。また、言語的な類型から、単語に助詞、助動詞などを付けて文の中での関係を示す膠着語、語形変化によって関係を示す屈折語、語順によって文法的関係を示す孤立語などに分類されます。日本語は膠着語、ドイツ語は屈折語、英語は孤立語的な特徴が強い屈折語に分類されています。こういう分類に基づいてみると、日本語と英語は祖語も言語的な類型も全く異なり、数ある言語の中でも、最も距離の遠い言語だといえます。

アメリカ国務省では、外交官が学ぶ外国語の中で、日本語とアラビア語は最も習得に時間がかかる言語に分類しており、習得には、英語とおなじ印欧語族のフランス語やドイツ語の２倍の時間が必要だとしているということです。それは、日本人が英語を学ぶ際にも言えることでしょう。

国際放送のアナウンサーが、下読みをしていないいわゆる“突っ込み原稿”を読むとき、日本語と韓国・朝鮮語のバイリンガルであれば、その場で読むことが出来ます。日本語と韓国・朝鮮語は語順が同じだからです。日本語と英語の場合は無理ですね。

音韻も、英語と日本語では大きく異なりますが、英語と中国語はかなり似ているようです。短波の国際放送が地球を一回りしてきたものを聞くと、英語と中国語は、なんとなく同じように聞こえます。

日本人の英語学習は２００年前に始まったといわれますが、明治時代に学校制度が整備されてからでも１００年余り、この縁遠い言葉と格闘してきたわけです。

日本語と最も遠い言葉で異文化を学ぶことは、複眼的な思考力を付けるのに役立つと先ごろ亡くなったロシア語同時通訳者の米原万里さんは言っています。その通りだと思いますが、文化的な違いばかり強調するのは考えものです。日本人同士だって理解できない相手はいる。先ずはおなじ人間同士であるという共通の基盤に立って、違うところも大いにあるという理解へ進むのがよいのではないでしょうか。それには何とかして、言葉の壁を突き破ることが先決だと思います。（M）

この教本の構成と使い方

この教本は、茅ケ崎方式英語会協力校の年間計画にあわせ、４０ UNITSを１年間（４０週）で終了するように編成してあります。ONE UNIT が１週間分の教材です。
各 UNIT は、英語の４技能（ **listening, reading, writing, speaking** ）を、基本から身につけていけるように、工夫してあります。構成は次のようになっており、毎日１時間、番号の順序で学習し、１週間で終了します。

1. **LISTENING**　（英文の聴き取り）付属の CD を使用
2. **QUESTIONS**　**LISTENING** の内容についての質問
3. **WORD TEST**　**LISTENING** で使用している単語のテスト
4. **WORD TEST** の**説明**　単語テストの説明
5. **EXERCISE (1)**　**Listening** の内容を chunk に分解したものの組み立て
6. **EXERCISE (2)**　１～５ で学んだことを生かした短い英文の作成
7. 英語の仕組み　英語の構文についての説明と用例
8. **EXERCISE (3)**　7. についての練習問題
9. **PHONICS**　英語の音声についての説明と練習問題。付属ＣＤを使用
10. **READING** と **SHADOWING**　付属ＣＤを使用
11. 発話練習　英語による短い対話

このほか、使用した単語をチェックするための **WORD LIST** と、英語を学ぶために知っておきたい基礎知識「英語ひとくちばなし」①～⑥が組み入れてあります。

1. **LISTENING**
   聴き取りの英文用例は、誰でも知っている人物についての説明文です。語数は、８０語前後から、１００語前後、最終的には１３０語程度まで増えていきます。構文も簡単なものから、やや複雑なものへ進みます。使用されている単語は固有名詞や特殊な用語などを除き、前編では約 250 語、ＢＯＯＫ - ０ 全体（前・後編）で約５００語で、青色で印刷されています。付属のＣＤには、Listening の教材が吹き込んであります。３回聴いてください。Listening（聴き取り）は、hearing（聞く、聞こえる）ではなく、注意深く、集中して聴くことです。
2. **QUESTIONS**
   CD を３回聴いて、分かったことを頭の中で整理して（つまり、メモしないで）、質問に答えてください。頭の中で思い浮かべて整理することが、大事です。このことが、後々重要な意味を持ってきます。記憶した単語の数が増え、英語の音声に慣れるにつれて、分かる部分が多くなっていきます。
3. **WORD TEST**

LISTENING の用例で使用している単語について、どの程度理解しているかのテストです。５００語（青字）は、４０UNITS の中に繰り返し出てきますから、だんだん頭に残るようになります。

4. **WORD TEST** の**説明**
   WORD TEST の単語についての説明です。**LISTENING** の用例を見ながら、説明を読んでください。（See ～ . は、～を参照の意味です）
5. **EXERCISE**（練習）**(1)**
   LISTENING の用例の英文の一部が、**chunk**（意味のあるひとかたまりの語群。一語のこともある。）に分解して、バラバラに並べてあります。これを、日本文を見ながら、**WORD** の説明を頼りに、英文に組み立てなおしてください。これによって、英語の構文の基本、特に語順を学びます。
6. **EXERCISE**（練習）**(2)**　英文の作成
   1. から 5. までで学んだこと、或いは、前のＵＮＩＴまでに学んだことを、総動員して、自分で英文を作成してみます。忘れたところは、復習しながら、取り組んでください。日本文の字面にひきずられることなく、内容をイメージし自分の英語で表現して下さい。
7. **英語の仕組み**
   英語の構文の基本を解説してあります。用例を見て、よく理解してから、次の練習問題をやってください。興味のある人は、ＢＯＯＫ - １の該当する項目の説明も読んでみてください。
8. **EXERCISE**（練習）**(3)**
   7. の練習問題です。英語の構文の基礎を身につけます。
9. **PHONICS**
   英語の文字と発音について説明がしてあります。ＣＤのあとについて発音の練習をしてください。文字と発音の間の規則をまとめた PHONICS がわかれば、多くの英語が、発音を聴いて書ける、文字を見て読めるようになります。
10. 9. で学んだことを活かしながら、**LISTENING** の問題を、何回も音読してください。英語でも「読書百遍、意おのずから通ず」という真理は通用します。特に大事なのは、単語の強勢（アクセント）と文中でのポーズのおき方（phrasing）です。ＣＤをよく聴いて、真似てください。十分に音読できるようになったら、ＣＤを聴きながら、直ぐ後について、同じように発声します。文が終わるのを待って続くのではなくて、２～３語後から追いかけるようにします。これを **shadowing**（影のようについていくこと）といいます。これによって、個々の単語の発音が正確になるだけでなく、ポーズの置き方を知り、リズムやイントネーション（抑揚）をつかむことができるようになり、英語のスピードに馴れて、**LISTENING** の助けにもなります。**shadowing** ができるようになったら、ＣＤを理解できるところで止めながら、英語で書き取って下さい。（dictation）

11. **LISTENING** の力がつき、**shadowing** をやっていれば、その何分の一かは、必ず、口から出て来るようになるので、この段階ではとくに発話の練習はしなくてもよいのですが、物足りない人は、質問に答えてみてください。No, I don't. の人はそこで終わりです。EX. (examples) は参考です。まずは自分で知っている事柄を英語で述べる努力をしてください。

- **WORD LIST の使い方**

どんな言語でも、すべての基礎は単語です。単語を憶えることなしに、言葉を使うことは出来ません。ＢＯＯＫ-０では、５００語（前編では２５０語）を、完全に身につけて使用語化を目指します。そのために、**WORD LIST** を活用します。例えば、appear という語について、**WORD LIST** の番号を頼りに、appear を含む、すべての英文を抜き出し、使用語化出来たかどうかチェックします。使用語化出来たと思うものは、蛍光ペンで消して、残りに力を注ぎます。残りがだんだん少なくなっていくと、学習の効率も上がり、大きな力がついていることを実感できます。500 語の用例を単語別に音声化したＣＤ（CD-500 茅ヶ崎方式英語会 Tel: 03-3288-2770 で販売）を使うと便利です。

- **英語ひとくちばなし**

英語は、日本人にとって学習が難しい言語のひとつです。それはどうしてなのか、困難を克服するには、どういう学習をすればよいのか、など、英語を学ぶ人が知っておく必要のある事柄を、やさしく解説しています。

＊ この教本では、日本人の名前を姓・名の順にしてあります。文化庁の国語審議会（現在の文化審議会国語分科会）が、２０００年に、日本人の名前の英語表記は、姓・名順が望ましいと答申し、ほとんどの中学校用英語教科書が、その表記に変更しました。この教本は、中学校レベルの英語の再学習のためのものなので、それにならいました。なお、UNIT-10 の Yoko Ono は商標になっており、UNIT- ８の　the Hideyo Noguchi African Prize　は公式名称になっていますので、そのまま使っています。

著　者

鈴木　　恵　茅ケ崎方式英語教本 BOOK-2 協力者。茅ケ崎方式英語会教材作成者。茅ケ崎方式英語会鎌倉教室講師

久保田尭子　茅ケ崎方式英語教本 BOOK-2 協力者。茅ケ崎方式英語会教材作成者。茅ケ崎方式英語会鎌倉教室講師

小室　澄子　茅ケ崎方式英語教本 BOOK-2 協力者。茅ケ崎方式英語会教材作成者。茅ケ崎方式英語会茅ケ崎教室講師。Book-0 著者代表

越村美智子　茅ケ崎方式英語教本 BOOK-2 協力者。茅ケ崎方式英語会教材作成者。茅ケ崎方式英語会茅ケ崎教室元講師

脇田　敬子　茅ケ崎方式英語教本 BOOK-1 協力者。茅ケ崎方式英語会教材作成者。茅ケ崎方式英語会茅ケ崎教室元講師

監 修 者

松山　薫

茅ケ崎方式英語会創設者、元 NHK 国際局記者

著書 :「国際英語基本 4,000 語」「茅ケ崎方式英語教本 1, 2, 3, 4, 5」

茅ヶ崎方式　国際英語語教本 BOOK 0
0からスタート
再学習の英語（前編）

2015 年 12 月 1 日　新装第 1 版第 1 刷発行

著　者　久保田尭子・越村美智子・小室澄子
　　鈴木恵・脇田敬子
監修者　松山　薫
発行者　大美賀　廣芳
発行所　有限会社 茅ヶ崎方式英語会
　　埼玉県行田市北河原 647